

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
重症児デイサービス fuwaRi		2025年 3月 10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	△			基準は満たしているが、利用人数によりバギーでの活動の際は狭く感じてしまうことがある。配置を工夫し活動しやすいよう工夫していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	△			基準は満たしているが曜日や利用人数、利用者の状態によっては不足に感じる日もある。今後スタッフの増員を行い対応することを検討中。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	△			カンファレンスを充実させ取り組んでいく。
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			アンケート調査で得られた保護者等の意向を把握し今後の業務改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、 事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページへの掲載を行っているため周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後必要があれば取り組んでいきたい。
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			今後も計画的に実施する。
	9	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			カンファレンスを充実させ適切に行えているか定期的に確認していく。
	10	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	11	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	△			
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			計画性をもってチームで行うよう努める。
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	△			ホワイトボードを使用し役割分担は確認しているが、支援内容については勤務時間にばらつきがあるため、始業前の確認は難しい。口頭では伝えているが、共有方法について検討していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	△			翌朝のミーティングで行うこともある。勤務帯のばらつきがスタッフ間で共有できるよう努める。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			記録については記載されているが、検証改善につなげられるように取り組んでいく。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			基本活動を複数組み合わせる支援を行っているが、ガイドラインについてもっとスタッフへ周知していく必要がある。
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		対象児無し
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	△			対象児無し
	24	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		△		定期的に開催される研修会へ参加している。 スタッフへの周知をしていく。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		感染症の流行によりなかなか交流する機会を作ることができない。今後状況を見ながら取り組めるよう検討する。
	26	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		△		機会があれば参加していきたい。
	27	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	28	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		△		必要に応じて対応を検討していく。
保護者への説明等	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	30	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	31	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			不定期に開催しているが、参加できていない保護者もいるため定期開催できるよう検討する。情報交換の場も含め家族同士が交流できる場を検討する。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		広く参加招待は行っていないが、希望があれば随時見学の受け入れを行っている。
	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	41	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			